

綾廼屋雜録 写本 一帙一冊

IX 5 C 7

○嘉永七年写。水玉模様灰色表紙。四針袋綴装。紫色角裂。縦二六・一糎×横一八・二糎。中遊紙一丁、目錄三丁、本文三九丁、計四二丁、後遊紙一五丁。料紙、混漉き、薄様。

○外題、原題簽、水玉模様薄朱色題簽に墨書、左肩に「綾廼屋雜録」。内題、「謡曲作物録」。尾題、なし。

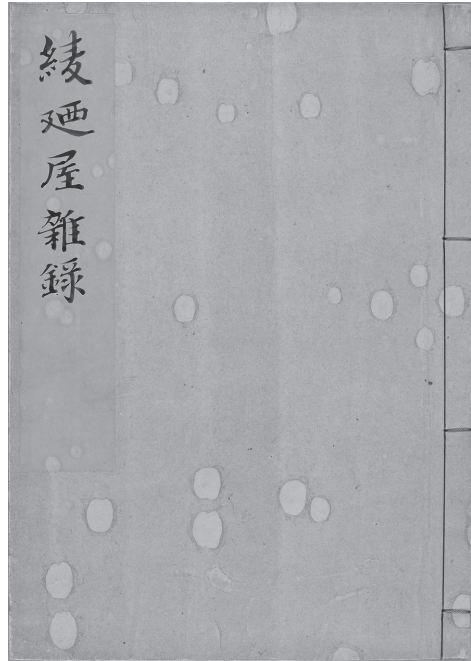
○序、なし。奥書「右一冊為心得写置者也／嘉永七寅年出来／光能（花押）」。

○印記、なし。作り物各種に続き、各曲の作物図。一部彩色。目錄は「杉の葉箒」「萩箒」「釣竿」「弓袋」「ゑぶり」「弓矢」「忠度の矢」「加茂」「船」「三輪」「松風小車」「羽衣 松風」「山」「道明寺・玉井」「玉井」「羯鼓臺」「兼平」「道盛」「宮」「井筒」「土蜘蛛」「大會」「野々宮」「國栖」「箆」「山姥」「唐船」「車僧」「歌占」「昭君」「谷行」「定家」「箆太鼓」「三井寺」「現在鶴」「鞍馬天狗」「是界」「角田川・柏崎・百萬 三井寺 藤永」「小鍛冶」「邯鄲」「景清」「葛城」「湯谷 是界」「黒塚」「江口」「小督」「繪馬」「錦木」「白髭」「呉服」「半菰」「小塩」「項羽」「巻絹」「安宅」「殺生石」「鉢木」「荻刈」「西王母」「小原御幸」「鍍輪」「飛鳥川」「竹雪」「雲雀山」「龍虎」「嵐山」「枕慈童」「三笑」「鳥追船」「雨月」「大蛇」「土車」「禪師曾我」「一角仙人」「高野物狂」「檜垣」「調伏曾我」「シテ幣寸法」「蟬丸」「求塚」「鱗形はた」の八一項目。本文は「松風 小車」と「羽衣 松風」の順番が逆、「箆」の丁に「海人」「敦盛」「荻刈」、「山姥」の丁に「放下僧」を加える等、小異。

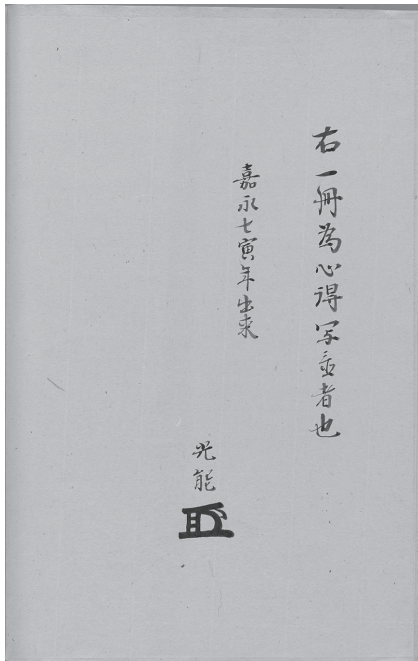
謡曲作物録  
目録

一 一丁	一 移の葉蓆	一 一丁	一 萩蓆	一 一丁	一 釣竿
一 官	一 弓袋	一 三丁	一 玉如	一 一丁	一 弓矢
	一 忠度の矢	一 三丁	一 如茂	一 一丁	一 船
	一 三輪	一 五丁	一 松風小車	一 一丁	一 羽衣松風
	一 山	一 八丁	一 道明寺	一 一丁	一 玉井
	一 獨轆臺	一 八丁	一 兼平	一 一丁	一 道盛
		一 九丁	一 井筒	一 一丁	一 土蜘蛛

目録



表紙



奥書



本文・図

猿樂伝記 写本 一帙一冊

IX 5 C 12

○江戸後期写。薄茶布目紙表紙。四針袋綴装。縦二四・六糎×横一六・九糎。本文六二丁。但、第三二丁卷之二の終わりに遊紙二丁。料紙、楮紙。

○外題、打ち付け書、墨書、左肩「猿樂傳記 四卷合冊」。目録題、「猿樂傳記卷之二」。内題、「猿樂傳記卷之二」。尾題、「猿樂記 止」。

○序、なし。識語、卷之三の終わりに「壬子暮春写于鳩喚寺草舎」と記す。

○印記、なし。墨・朱による同筆の校合あり。



花伝書 卷一至六、八 版本 一帙七冊

三G dイ4

○江戸初期刊。紺色紙表紙。四針袋綴装。綴じ糸は後綴。縦二六・〇糎×横一九・四糎。匡郭なし。各冊とも前後遊紙なし。本文、卷一は二〇丁、卷二は一八丁、卷三は三〇丁、卷四は三七丁、卷五は三三丁、卷六は二六丁、卷八は一七丁。料紙、楮紙。片面十二行。

○外題、原題簽、無地刷り題簽、左肩「花伝書 一（〜六、八）」。各冊により字体を変えている。卷六の題簽には「六」と刷られた左下に「七」と墨による書入れがある（実際には卷七は欠冊）。内題、なし。尾題、なし。版心、「花卷一（〜六、八）」および丁付。

○序跋等、なし。刊記、なし。

○印記、なし。無刊記古活字版。図入り。卷七の一冊欠。卷八に「御絵圓滿院御門跡祐常法親王／御讚 九條左大臣尚實公」の墨書のあ  
る挟紙あり。



花伝抄 版本 一帙八冊

三Gdイ5

○寛文五年版の後刷り本。縹色紙表紙。四針袋綴装。綴じ糸は後綴。縦二五・八糎×横一八・七糎。匡郭なし。各冊とも前後遊紙なし。本文、第一卷二六丁、第二卷二〇丁、第三卷三九丁、第四卷四五丁、第五卷四〇丁、第六卷三七丁、第七卷五〇丁、第八卷二四丁。第二卷に城郭見取り図が一紙挟み込まれている。「□海平山城（山七段／五働）扇様之圖」「天保九戌年極月十五日」「渡辺専右衛門守義」。料紙、楮紙。片面九行。

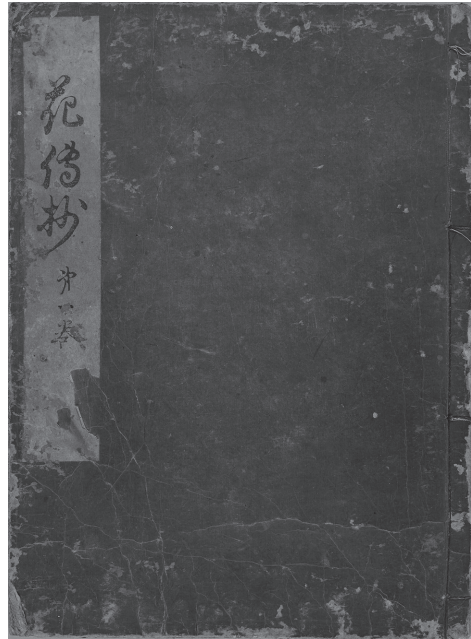
○外題、原題簽、無地刷り題簽、左肩「花傳抄 第一（〜八）卷」。内題、なし。尾題、なし。版心、「花傳一（〜八）」および丁付。

○序、なし。識語、各卷の末に「せあみ」と記す。刊記、「寛文五年乙巳九月吉日／平野屋佐兵衛開板」。

○印記、なし。図入り。

又申樂延算此しとよき其係とたひ  
 終る小此園小り一もる取地神五代あま  
 てる津津乃乃時天乃若乎此神あま  
 ひささまひ一時八百乃神速たりまう  
 原小あ川まり給ひ此曲と休まらり  
 めあひて若若乃前よて神樂と云こ  
 とと指う一たふ小是示成統一て  
 天照皇大神宮若若とを給ひ日本あ  
 きらう小成りりこの今は此曲繫

巻頭

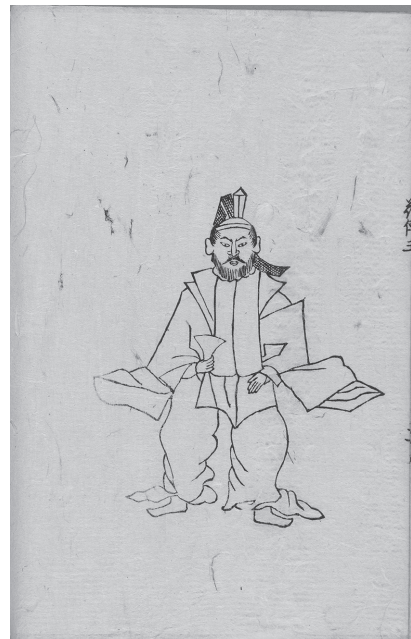


表紙

まそしくい藝はあひひ一とあき  
 こりゆさの物あひりうく押れ日け  
 と心得て藝をすれ一第一あひ  
 全と無とんやうあかれとの  
 わく休

寛文八年己九月吉日  
 平聖屋信春書用板

本文末・刊記



挿絵



能秘書手津賢 版本 一帙三冊

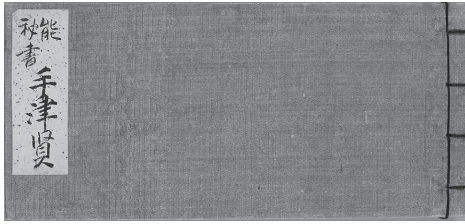
IX 5 C 11

○嘉永頃刊。第一冊と第三冊は薄肌色地に藁屑散らし紙表紙。第二冊は灰色地に浅葱色円繋ぎ文様布表紙。四針袋綴装。第一冊朽葉色角裂。第三冊薄朽葉色角裂。縦八・七糎×横一八・八糎。单匡郭、縦七・九糎×横一六・三糎。第一冊、前遊紙一丁、本文六五丁、後遊紙なし。第二冊、前後遊紙なし、本文二二〇丁。第三冊、前遊紙一丁、本文二四〇丁、後遊紙なし。料紙、楮紙。片面十八行。

○外題、後補題簽。左肩の白地銀箔散らし題簽に墨書「能／秘書／手津賢」。内題、第一冊「能目録／百番」（目録題）。第二冊、目録なし。「高砂」。第三冊「能目録／屈等有之稽古之分廿四番」（目録題）。尾題、なし。版心、各曲名、下部に丁付け。

○序跋等、なし。刊記、なし。

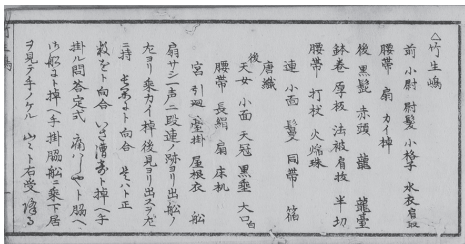
○印記、なし。第一冊、「能目録／百番」竹生島／狸々の一〇〇曲。第二冊目、目録なく、高砂／桜川の五〇曲。第三冊、「能目録／屈等有之稽古之分廿四番」として実盛／護法の二四曲所収。参考文献、『能型付』演劇資料叢書2（早稲田大学坪内博士記念演劇博物館編、一九七五年刊、当該書の演劇博物館蔵本の影印）。



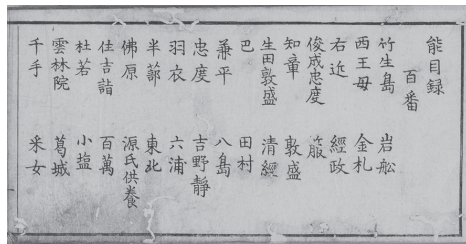
第2冊表紙



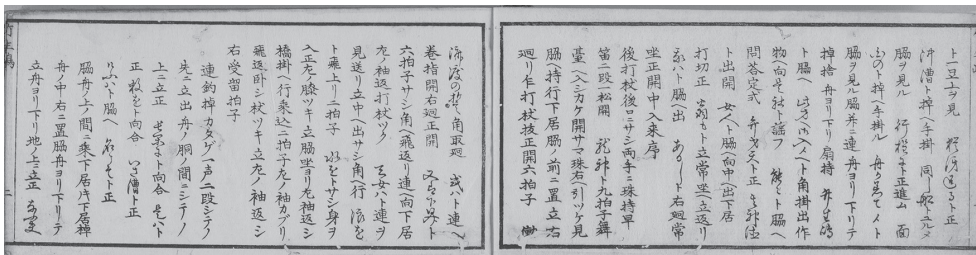
第1冊表紙



本文冒頭



能目録



本文

改正能訓蒙図彙 版本 一帙一冊

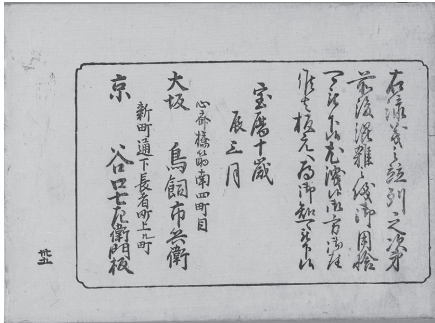
IX 5 C 9

○宝曆一〇年刊。紺色杉葉に鳳凰文様紙表紙。四針袋綴装。綴じ糸は後綴。縦一二・七糎×横一八・五糎。単匡郭、縦八・九糎×横二四・一糎。六二丁。但、うち第二四丁は白紙。遊紙なし。料紙、楮紙。

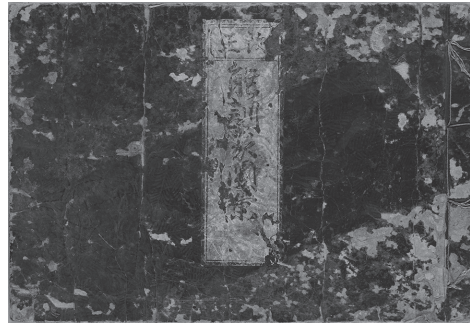
○外題、原題簽、子持郭題簽、中央に「(改/正) 能訓蒙圖彙」、「改正」は頭書。内題、「能訓蒙圖彙上」。尾題、なし。版心、なし。

○序、第二三丁表から第二四丁表(下巻冒頭)に、「鳳城 梅花楼」による叙あり。「唐有雅楽有故楽有傳寄云々」。跋、なし。刊記、「右流義之竝列之次第前後混雜之儀御用捨可被下候尤洩候御方御座候者板元へ為御知可被下候/宝曆十歲辰三月/大坂 心齋橋筋南四丁目/鳥飼市兵衛/京/新町通下長者町上ル町/谷口七左衛門板」。

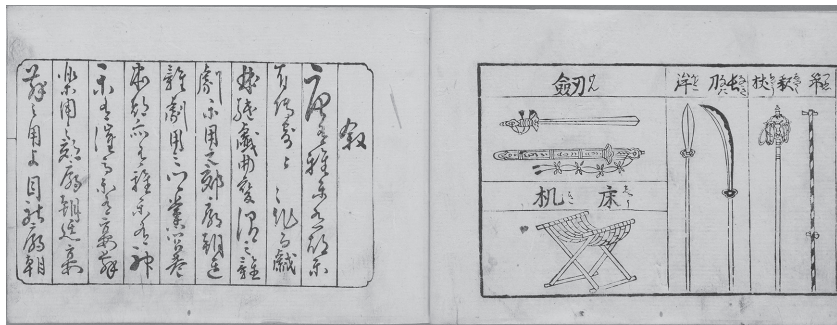
○印記、なし。



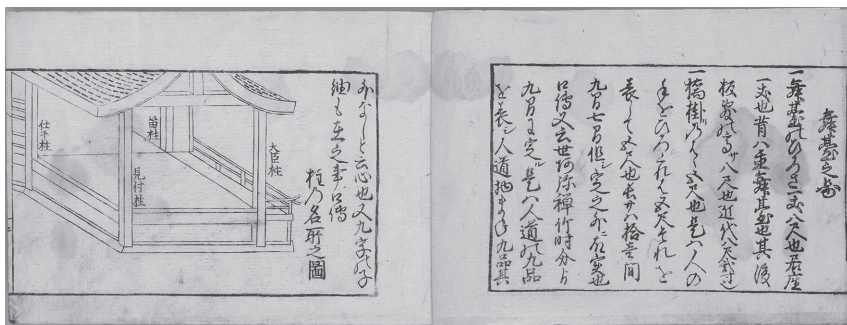
刊記



表紙



挿絵・叙



本文・挿絵

暁齋翁筆能画図式 版本 一帙一冊

IX 5 C 10

○明治二〇年刊。布目地に縦刷毛目洪引き文様紙表紙。四針袋綴装。縦二二・七糎×横一五・四糎。単匡郭、縦一八・三糎×横一二・六糎。一九丁、遊紙なし。料紙、楮紙打紙。

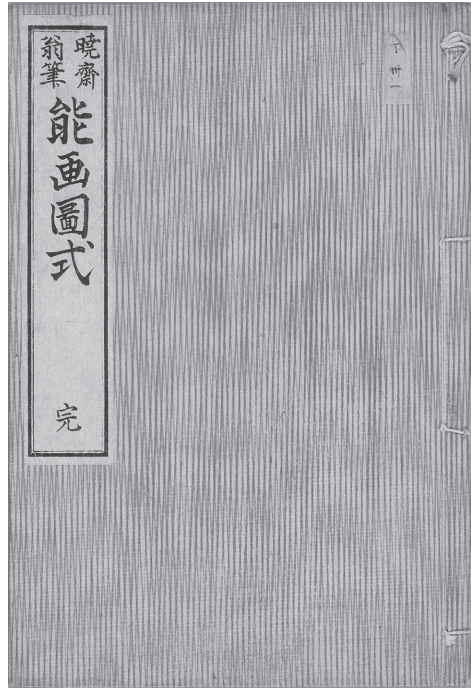
○外題、原題簽、子持郭刷り題簽、左肩「暁齋翁筆」能画圖式 全。見返し題、中央に「能画圖式」、右に「暁齋先生筆」、左に「章林堂」と記す。尾題、なし。版心、なし。

○序、「蟹屏風を連れて夜々走る何事も其妙を極むるに至りては左もあるへき歟此頃狸々暁齋翁の筆せしとて書肆屋のもたらせし狂言艸を見るにさすか翁の妙筆奇墨得意に任せしものから氣韻生動骨法を得て面白おかしく腹をより腮をはつさしむる誠に妙之妙たる奇之奇たる術を得たるの極なるめと序にかへて賞賛するものは 芳雪圃主人」。跋、なし。刊記、「明治廿年八月御届／發賣書鋪／淺草駒形町 小林文七／四ツ谷北伊賀町 富田芳次郎／芝櫻川町 山本平七／神田西福田町 伊藤岩次郎／神田佐久間町 山田藤助／出版人 吉田金兵衛／下谷區御徒町壺丁目三番地」。

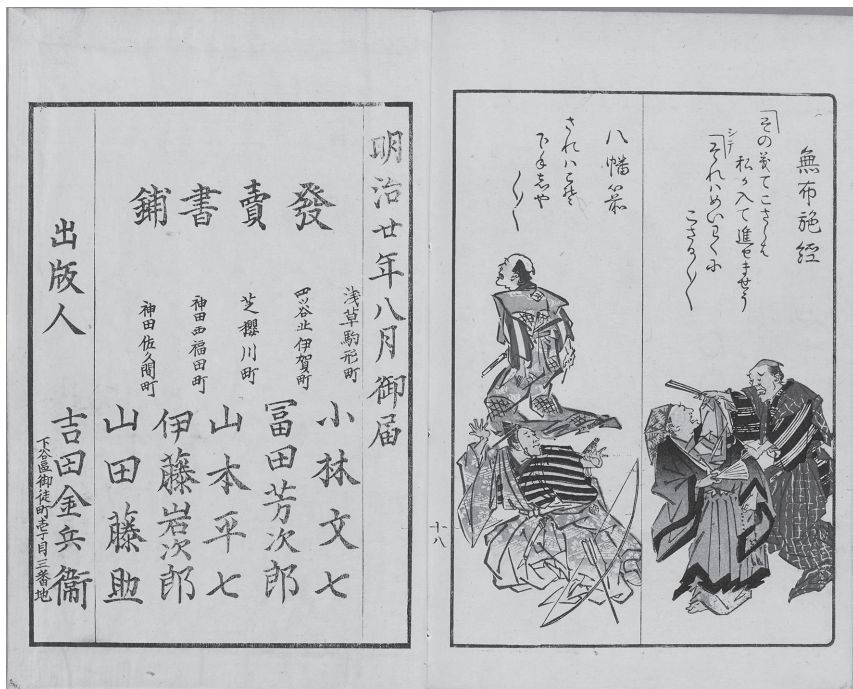
○印記、巻頭右下に、長方陽刻朱印「英王堂藏書」。バジル・ホール・チェンバレン旧藏書。挿絵は多色刷り。



本文・挿絵



表紙



本文末・挿絵・刊記

能之訓蒙図彙 版本 一帙四冊

三Gdイ3

○貞享四年刊。茶色表紙（後装）。四針袋綴装。縦一〇・九糎×横一六・〇糎。単匡郭、縦九・三糎×横一四・二糎。各冊とも前後遊紙なし。

本文、第一冊一六丁、第二冊一二丁、第三冊三〇丁、第四冊一七丁。料紙、楮紙。

○外題、（後補題簽）「能之訓蒙圖彙一（一・四）」。内題、「能之訓蒙圖彙卷一（二・四）」。第三冊は「謠目錄 國付 卷三」。尾題、なし。版心、丁付のみ。

○序跋等、なし。刊記、「貞享四卯年初夏吉日／洛下書林 伊勢や七郎兵衛 吉田次郎右衛門 板行」。

○印記、なし。所蔵者署名の墨書があるも擦れにより判読不能。その左に朱筆にて「玉置氏」（墨書花押）。





宝生大夫観進能 嘉永元年二月 版本 一箱二卷

I 2 D 3

○嘉永元年刊。鶯色変り菱文様緞子表紙。見返し、銀砂子。卷子本。上巻、縦二六・五糎×横一一四九・三糎。下巻、縦二六・五糎×横九五四糎。匡郭なし。料紙、楮紙打紙。

○外題、白色金箔散シ題簽に書名なし（原題簽カ）。内題、上巻「寶生大夫観進能卷」。下巻なし。尾題、なし。

○序、なし。奥書、上巻末尾に「嘉永改元戊申の二月より肇り筋違橋畔の疊地に於て寶生大夫か散楽の観進芝居興行あり晴天を擇て日數十五日を期とす 江城の良賤輻輳して一時の大觀なり昔貞享四年の七月本所において興行ありし例と聞ゆ今以さ、か廳図を摹して他日話柄の一助とす 戊申孟夏 斎藤月岑幸成識」「雙鳳和鳴繞玉臺風傳花氣五雲開南山寿席繁蘭芷共酌千秋長命杯」。刊記、なし。

○印記、なし。桐箱入。箱書「宝生大夫勧進能卷」（中央、打付、墨書）、手前側面に横書きで「宝大能」と墨書。「弘化勧進能絵卷」と呼ばれるもの。板本着色。下巻絵巻部分の奥に「源朝臣田淵民恒／源岱保知書」の署名を載せる。



舞樂秘曲 版本 一帙六冊

三G d i 1

○正徳五年刊。黒表紙（後装）。四針袋綴装。縦二・九糎×横一五・八糎。単匡郭、縦一八・九糎×横一三・五糎。各冊とも前後遊紙なし。第一冊一八丁、第二冊一三三丁、第三冊一五五丁、第四冊一五五丁、第五冊一三三丁、第六冊一四四丁。料紙、楮紙。

○外題、なし。序題、「舞樂秘曲序」。内題、第一冊「舞樂秘曲大成卷一（一六）」、第二冊「舞樂秘曲卷二 能之衣裳付」、第三〜六冊「舞樂秘曲卷三（一六）」。尾題、なし。版心、各冊、「能式一（一六）」、下部に丁付け。

○序あり。「舞樂秘曲序／禪振神風、ながくふきつたへ、秦川勝のながれたへせずして、世々によそひもそひなして、舞曲の数かさなり、たへなるもて遊ひとなれり、五ツの音、九つの容、唐のやまとのあやをなし、雲の上、賤かやの、ことわさ何れかうつさ、らん、管絃のいとしめやかなるは、おろかなる耳のなをさりに、女樂のいろにたはれたるは、たゞしき道にいましめたり、此曲のすぐれたるにや、かしき君の、もろくと樂をそなへし心ならん、もとよりあづさにゑりしまさくあまたなれど、其術をゑたらん人のためがちにして、たゞ人にうときことのみたゞし、頃此圖式をゑかきいたし、童への能を見はやすあないとや、作者いひわかちしを、書のはしに、つゞり侍る」。奥に刷り墨印二顆。跋、識語、奥書なし。刊記、「正徳五乙未五月吉祥日 京新町通下長者町上ル町 谷口七左衛門板」。刊記右横に「歌舞名物同異抄 出来」、下掛乱曲大成 出来」の広告を刷る。

○印記、第一冊二丁表右上に、正方陰刻朱印「□堀田藏書」、中ほどに、長方陽刻朱印「□□□□」。刊記の右に「吟雪庵」と墨書し、円型陽刻墨印「□」。刊記の右に朱筆で「都合七百八十番也」の書入れあり。



舞樂秘曲 版本 一帙一冊

三G d i 2

○正徳五年刊。無地に雲母で花唐草刷り文様紙表紙。改装表紙。四針袋綴装。縦二一・〇糎×横一五・二糎。単匡郭、縦一八・八糎×横一三・五糎。八九丁、遊紙なし。料紙、楮紙。

○外題、なし。序題、「舞樂秘曲序」。内題、第一冊「舞樂秘曲大成卷一（一六）」、第二冊「舞樂秘曲卷二 能之衣裳付」、第三〜六冊「舞樂秘曲卷三（一六）」。尾題、なし。版心、「能式一（一六）」、下部に丁付け。

○序あり。「舞樂秘曲序／禪振神風、ながくふきつたへ、秦川勝のながれたへせずして、世々によそひもそひなして、舞曲の数かさなり、たへなるもて遊ひとなれり、五ツの音、九つの容、唐のやまとのあやをなし、雲の上、賤かやの、ことわさ何れかうつさ、らん、管絃のいとしめやかなるは、おろかなる耳のなをさりに、女樂のいろにたはれたるは、たゞしき道にいましめたり、此曲のすぐれたるにや、かしき君の、もろくと樂をそなへし心ならん、もとよりあづさにゑりしまさくあまたなれど、其術をゑたらん人のためがちにして、たゞ人にうときことのみたゞし、頃此圖式をゑかきいたし、童への能を見はやすあないとや、作者いひわかちしを、書のはしに、つゞり侍る」。奥に刷り墨印二顆。跋、識語、奥書なし。刊記、「正徳五乙未五月吉祥日／京新町通下長者町上ル町／谷口七左衛門板」。刊記右横に「歌舞名物同異抄 出来」「下掛乱曲大成 出来」の広告を刷る。

○印記、一丁表右下ほかに、長方陽刻朱印「森脇藏書」。一丁表右下ほかに、長方子持郭陽刻朱印「環翠軒小林藏」。合冊本。三G d i 1よりも刷りは劣る。巻末に「谷口七左衛門」の「板行目録」一丁を掲載する。

